

令和8年2月24日

栗山町議会議長 鶴川和彦様

産業福祉常任委員会委員長 斉藤隆浩

### 所管事務調査報告書

令和7年6月12日開催の産業福祉常任委員会で決定した所管事務調査を実施したので、その調査概要を次のとおり報告します。

#### 記

#### 1. 調査事項 地域医療の実態について

#### 2. 調査日程

回	調査年月日	ところ	出欠状況	説明員	結果	摘要
1	7.11.21	委員会室	6	福祉課長・同課主幹・同課参与	継続	説明質疑
2	8.1.21	〃	6	—	〃	
3	8.2.24	〃	6	—	まとめ	

#### 3. 調査内容

栗山町第7次総合計画における計画事業 No. 66 「地域に必要な医療水準の維持に努めます」に掲げる事業を中心に調査を行った。

調査の内容としては、本町における現状の医療資源や南部地区の医療環境対策として栗山赤十字病院による「巡回診療」及び今後検討する取組み内容や、現在加入している救急医療相談の「救急安心センターさっぽろ#7119」、令和6年度から加入した町内に診療科がない産婦人科に関するオンライン相談事業の「産婦人科・小児科オンライン相談」及び栗山赤十字病院に対する救急医療事業と地域医療機能確保事業に対する「救急医療体制等確保補助金」の実態について調査を行った。

#### 4. 意 見

本町の医療体制は栗山赤十字病院の改築にあわせ医療機器が一部更新され、また個人病院等も複数あり、町外にある救急病院との連携も図られているため、町民の命を支える仕組みは整えられていると評価する。しかし、住民のライフスタイルが変化する中で、医療に対するニーズは多岐にわたり、命に直結する分野でもあるため、現状に満足せず更なる高みを目指す医療体制の支援強化が必要である。

栗山赤十字病院を中心とした在宅医療を継続していくための医療提供、療養生活の支援の充実に向け、町内医療機関や介護・福祉施設との地域連携について更なる強化を図っていくことを望む。

南部地区の医療環境対策については巡回診療を実施することとなったが、南部地区で開業を希望する医師の模索や、今後の取り組みとして町内医療機関へ受診するための交通手段の充実、在宅医療の推進について検討していくため、南部地域の医療環境対策については、引き続き注視していく。

また、本町が加入している救急医療相談「救急安心センターさっぽろ#7119」については、相談者の状態の緊急度が高い場合は、救急安心センターさっぽろと救急隊員、そして搬送される医療機関との迅速な情報共有が必要である。各関係機関がスムーズに連携できるよう連携体制の強化を求める。